

能登半島地震 使用実例

マルハン七尾店 様

1月3日から営業再開の1月16日までの14日間
「ほぼ紙トイレ」昼夜解放

～ 備蓄していた良かった ～

被災地で「ほぼ紙トイレ」を使用した七尾店の高橋店長にお話を伺いました。

当時の状況

- 1月7日には仮設トイレが2基届いたが「ほぼ紙トイレ」は使い続けた。
- 使用者はほとんどが近隣住民の方で、若者だけでなくお年寄りも使用していた。近隣の方々には非常に感謝された。
- X（旧Twitter）で「トイレが使える」という情報を発信すると一気に10万ツイートになった。他の地域から「トイレ」を求めて来た方がいたと思う。

「ほぼ紙トイレ」

- 工具無しでスムーズに組み立てることができた。
- 洋式トイレ（洋便器）で良かった。
- プライバシーも確保され音も気にならなかった。
- 仮設トイレは臭かったが「ほぼ紙トイレ」は臭いは無かった。
- 備蓄していた良かった。

総合評価 ● 今回の災害時のMVPは「ほぼ紙トイレ」です。
とても役に立ちました。



マルハン七尾店様の
ヒアリング詳細は
こちらから



ヒアリング詳細